

## 13. シリアルポートの設定の解除の方法

### <OS>

EWS4800、NEWS、Solaris

過去にモデムや端末が繋がれていたポートにUPSを接続した場合、UPSと監視プログラムとの間でうまく通信できない事があります。この場合には、シリアルポートの設定を初期状態に戻してやる必要があります。

・SVR4(ttymonサービス)の場合

SVR4では、シリアルI/Oをttymonで一元的に管理しています。設定を変更したり削除する場合には、総合管理ツール(SunSolarisでは admintool, EWS4800やNEWSでは sysadm)または、サービスアクセス制御管理ツール(sacadm)を使います。

1. 先ず、現在の ttymon のサービス一覧を見ます。# sacadm -l

```
PMTAG PMTYPE FLAGS RCNT STATUS COMMAND
```

```
inetd inetd - 0 ENABLED. . . . .
```

```
tcp listen - 3 ENABLED. . . . .
```

```
ttymon3 ttymon - 0 ENABLED. . . . .
```

この一覧は、/etc/saf/のしたのファイル \_sactabの中に記述されているものです。

「PMTAG」が「ttymon」になっているエントリがあるはずですが(SunSolarisではzsmon, EWS4800ではttymon3)。その「PMTAG」と同名のディレクトリが/etc/safの下に存在し、その下に\_pid, \_pmpipe, \_pmtabのファイルがあります。

2. ttymonのサービスを「DISABLE」にするか削除します。

```
# sacadm -d -p ttymon3 <-DISABLE
```

```
# sacadm -r -p ttymon3 <-削除
```

(注)SunSolarisではポートタグをzsmonにする。

再度(1)を実行すると、「ttymon」のサービスがENABLEになっているか消えています。

/etc/saf/\_sactabの内容が変更されます。

3.Solarisの場合は、サービスを温存したままで、設定だけを変更する方がよいようです。それには、admintoolのシリアルポート管理ツール で次のように設定してください。

Service : Enable

Options: Initialize Only, Software Carrier

Port Monitor Tag : zsmon

この設定で、/etc/saf/\_zsmon/\_pmtabの内容が次のようになるはずです。

```
# VERSION = 1
```

```
ttya:u:root:reserved:reserved:reserved:/dev/term/a:l::usr/bin/login::9600:ldterm,ttcompat::ttya login¥: ::tvi925:y:#
```

```
ttyb:u:root:reserved:reserved:reserved:/dev/term/a:l::usr/bin/login::9600:ldterm,ttcompat:ttyb login¥: ::tvi925:y:#
```

/etc/saf/\_zsmon/\_pmtabの内容を直接エディットしてしまってもよいようです。